

歴史は未来の羅針盤



これまでこの欄では、『近江日野の歴史』に関わる内容を中心に掲載してきました。町史編さん事業は本年3月で完了しましたが、収集・整理してきました古文書などの史料は、旧山中正吉邸で今後も引き続き保存・活用していきます。今回は、2年にわたる改修工事を経て、常時公開されることになりました旧山中正吉邸についてお知らせします。

町史編さん室の閉室と業務移転

平成14年度より進めてきました町史編さん事業は、本年1月の絵図・要覧編の発刊をもちまして完了し、13年の長い歳月をかけて『近江日野の歴史』全9巻を刊行することができました。

この間には、大変多くの方々にご協力、ご尽力いただきました。町史の編さん方針や編集方法を決定・指導いただいた編さん委員・編集委員の皆さん、各専門分野で最新の成果を取り入れた原稿を書いていただいた執筆委員の皆さん、調査や問合せなど地元とのパイプ役を務めていただいた編さん協力委員の皆さん、さまざまな調査やアンケートなどへの協力や古文書・古写真などの史料提供をいただいた町内外の皆さん、これらすべてを合わせますと約2500の個人・団体となります。実際にはこの何倍もの人たちに関わって

いただいたことでしょう。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

町史編さん室では、このように多くの方々に支えられ、各巻の刊行に合わせて日野町にかかわる歴史や文化の総合的な調査を進めてきました。とくに、町史編さん事業の開始以前から継続してきました古文書調査は、最終的には13万点を超える点数を調査整理し、そ



▲屋根瓦が葺き替えられた古文書を収納する土蔵

れを撮影した写真は約260万カットにものぼりました。

事業完了に伴い町史編さん室も本年3月末で閉室となりました。編さん事業で収集・整理した史資料や寄贈を受けた古文書等は、今後、旧山中正吉邸で保管・活用していきます。また、町史販売や各種文化財調査等も体制を変えて旧山中正吉邸で引き続き行います。

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」の開館

これまで改修工事中であったため暫定的に公開してきました旧山中正吉邸を、「近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」と名付け、職員を配置して本年4月より常時公開することになりました。旧山中正吉邸は、資料館や歴史館などといった画一的な施設ではなく、個性あるまちづくりをすすめるための複合的な拠点施設として位置づけ、日野の歴史や文化に関する資料を保存・活用し、それらを生

かした体験や交流、情報発信をしていきます。

この目的のため、旧山中正吉邸を次の5つのコーナーに分け、さまざまな利活用をすすめていきます。

- ①庭園に面した座敷で伝統的な郷土料理などが味わえる食体験コーナー（予約受付準備中）
  - ②近江日野商人などについての学習や交流ができる研修コーナー
  - ③資料や写真パネルなどを見て歴史を学べる展示コーナー（順次展示予定）
  - ④祭りや伝統行事などの映像を楽める日野祭りシアター（準備中）
  - ⑤古文書をはじめとする歴史資料を調査・保存する資料管理室
- また、旧山中正吉邸は日野商人の大規模な本宅を代表する建築群として、本年4月1日に日野町の有形文化財に指定されました。部屋数の多さ、建築様式、調度品など、日野商人の本宅での生活ぶりを間近に見て感じて知ってもらえることと思います。
- ぜひ、ご来館下さい。開館時間は午前9時から午後4時まで、月・火曜日、休日の翌日、年末年始等が休館となります。開館後しばらくは資料展示が準備中であったり、公開部分が限定されたりするため、当面は入館料を無料とします。